

1. 次の計算をせよ。

(1)
$$\frac{x^2+4x+5}{x+3} - \frac{x^2+5x+6}{x+4}$$

(2)
$$\frac{3a^2+8a+4}{a^2-1} \div \frac{6a^2+a-2}{a^2+a} \times \frac{2a-1}{a+2}$$

(3)
$$1 - \frac{1}{1 - \frac{1}{1+a}}$$

2. $a^3-2ab^2+4b^3$ を $a+2b$ で割った商と余りを求めよ。4. $\frac{y+z}{x} = \frac{z+x}{y} = \frac{x+y}{z}$ のとき, この式の値を求めよ。3. 等式 $a(x-1)(x-2) + b(x-2)(x-3) + c(x-3)(x-1) = 6$ が x についての恒等式となるように, 定数 a, b, c の値を定めよ。5. $\frac{a}{b} = \frac{c}{d}$ のとき, 等式 $\frac{a+b}{a-b} = \frac{c+d}{c-d}$ が成り立つことを証明せよ。

6. 次の不等式を証明せよ。

$$(a^2+b^2)(x^2+y^2) \geq (ax+by)^2$$

8. 次の不等式を証明せよ。

$$|a+b| \leq |a| + |b|$$

10. $2x+y-3z=3$, $3x+2y-z=2$ を満たすすべての実数 x , y , z に対して,

$$px^2+qy^2+rz^2=12$$
 が成立するような定数 p , q , r の値を求めよ。

7. 次の不等式が成り立つことを証明せよ。

$$a > b > 0 \text{ のとき } \sqrt{a-b} > \sqrt{a} - \sqrt{b}$$

9. $x > 0$ のとき, 不等式 $\left(x + \frac{1}{x}\right)\left(x + \frac{4}{x}\right) \geq 9$ が成り立つことを証明せよ。また, 等号が成り立つのは, どのようなときか。

1. 次の計算をせよ。

(1)
$$\frac{x^2+4x+5}{x+3} - \frac{x^2+5x+6}{x+4}$$

(2)
$$\frac{3a^2+8a+4}{a^2-1} \div \frac{6a^2+a-2}{a^2+a} \times \frac{2a-1}{a+2}$$

(3)
$$1 - \frac{1}{1 - \frac{1}{1+a}}$$

解答 (1) $\frac{2}{(x+3)(x+4)}$ (2) $\frac{a}{a-1}$ (3) $-a$

解説

$$\begin{aligned}
 (1) \quad & \frac{x^2+4x+5}{x+3} - \frac{x^2+5x+6}{x+4} \\
 &= \frac{(x+3)(x+1)+2}{x+3} - \frac{(x+4)(x+1)+2}{x+4} \\
 &= \left(x+1 + \frac{2}{x+3}\right) - \left(x+1 + \frac{2}{x+4}\right) \\
 &= \frac{2}{x+3} - \frac{2}{x+4} = \frac{2((x+4)-(x+3))}{(x+3)(x+4)} \\
 &= \frac{2}{(x+3)(x+4)}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 (2) \quad & \frac{3a^2+8a+4}{a^2-1} \div \frac{6a^2+a-2}{a^2+a} \times \frac{2a-1}{a+2} \\
 &= \frac{(a+2)(3a+2)}{(a+1)(a-1)} \times \frac{a(a+1)}{(2a-1)(3a+2)} \times \frac{2a-1}{a+2} = \frac{a}{a-1}
 \end{aligned}$$

$$(3) \quad \text{与式} = \frac{1}{1-\frac{1+a}{(1+a)-1}} = \frac{1}{1-\frac{1+a}{a}} = \frac{a}{a-(1+a)} = \frac{a}{-1} = -a$$

解説

2. $a^3-2ab^2+4b^3$ を $a+2b$ で割った商と余りを求めよ。解答 商 $a^2-2ab+2b^2$, 余り 0

解説

$$\begin{array}{r}
 \frac{a^2-2ba+2b^2}{a+2b} \\
 \hline
 a^3 & -2b^2a+4b^3 \\
 a^3+2ba^2 & \\
 \hline
 -2ba^2-2b^2a \\
 -2ba^2-4b^2a \\
 \hline
 2b^2a+4b^3 \\
 2b^2a+4b^3 \\
 \hline
 0
 \end{array}
 \begin{array}{l}
 \text{商 } a^2-2ab+2b^2 \\
 \text{余り } 0
 \end{array}$$

3. 等式 $a(x-1)(x-2) + b(x-2)(x-3) + c(x-3)(x-1) = 6$ が x についての恒等式となるように, 定数 a , b , c の値を定めよ。解答 $a=3$, $b=3$, $c=-6$

解説

与式が x についての恒等式であるならば, x にどのような値を代入しても等式が成り立つから $x=1$ を代入して $2b=6$ $x=2$ を代入して $-c=6$ $x=3$ を代入して $2a=6$ よって $a=3$, $b=3$, $c=-6$

逆に, このとき与式の左辺は

$$3(x-1)(x-2) + 3(x-2)(x-3) - 6(x-3)(x-1)$$

$$= 3(x^2-3x+2) + 3(x^2-5x+6) - 6(x^2-4x+3) = 6$$

となり, 右辺と一致するから, 与式は恒等式となる。

ゆえに $a=3$, $b=3$, $c=-6$

別解 (「逆に」以下を, 次のように述べてもよい。)

このとき, 等式の両辺は 2 次以下の多項式であり, 異なる 3 個の x の値に対して等式が成り立つ。

よって, この等式は恒等式である。

ゆえに $a=3$, $b=3$, $c=-6$ 4. $\frac{y+z}{x} = \frac{z+x}{y} = \frac{x+y}{z}$ のとき, この式の値を求めよ。解答 $x+y+z \neq 0$ のとき 2, $x+y+z=0$ のとき -1

解説

$$\begin{array}{r}
 \frac{y+z}{x} = \frac{z+x}{y} = \frac{x+y}{z} = k \text{ とおくと} \\
 y+z = xk, z+x = yk, x+y = zk \quad \dots \dots \text{①}
 \end{array}$$

辺々を加えると $2(x+y+z) = (x+y+z)k$ [1] $x+y+z \neq 0$ のとき $k=2$ このとき, ①は $y+z=2x$, $z+x=2y$, $x+y=2z$ これらを解いて $x=y=z$ よって, $xyz \neq 0$ とすることができる。[2] $x+y+z=0$ のとき $y+z=-x$

よって $k = \frac{y+z}{x} = \frac{-x}{x} = -1$

[1], [2] から $x+y+z \neq 0$ のとき 2, $x+y+z=0$ のとき -1 5. $\frac{a}{b} = \frac{c}{d}$ のとき, 等式 $\frac{a+b}{a-b} = \frac{c+d}{c-d}$ が成り立つことを証明せよ。

解答 略

解説

$$\frac{a}{b} = \frac{c}{d} = k \text{ とおくと } a=bk, c=dk$$

よって $\frac{a+b}{a-b} = \frac{bk+b}{bk-b} = \frac{b(k+1)}{b(k-1)} = \frac{k+1}{k-1}$

$$\frac{c+d}{c-d} = \frac{dk+d}{dk-d} = \frac{d(k+1)}{d(k-1)} = \frac{k+1}{k-1}$$

ゆえに $\frac{a+b}{a-b} = \frac{c+d}{c-d}$

別解 条件式 $\frac{a}{b} = \frac{c}{d}$ より, $c = \frac{ad}{b}$ であるから

$$\begin{aligned}
 \text{(右辺)} &= \frac{\frac{ad}{b} + d}{\frac{ad}{b} - d} = \frac{ad + bd}{ad - bd} = \frac{a+b}{a-b} = \text{(左辺)}
 \end{aligned}$$

6. 次の不等式を証明せよ。 $(a^2+b^2)(x^2+y^2) \geq (ax+by)^2$

解答 証明略 等号は $ay=bx$ のとき成立立つ

解説

$$(a^2+b^2)(x^2+y^2)-(ax+by)^2 = (a^2x^2+a^2y^2+b^2x^2+b^2y^2)-(a^2x^2+2abxy+b^2y^2) = a^2y^2-2abxy+b^2x^2 = (ay-bx)^2 \geq 0$$

よって $(a^2+b^2)(x^2+y^2) \geq (ax+by)^2$
等号が成立立つのは、 $ay-bx=0$ すなわち $ay=bx$ のときである。

7. 次の不等式が成立立つことを証明せよ。 $a>b>0$ のとき $\sqrt{a-b} > \sqrt{a} - \sqrt{b}$

解答 略

解説

$$\begin{aligned} (\text{左辺})^2 - (\text{右辺})^2 &= (\sqrt{a-b})^2 - (\sqrt{a} - \sqrt{b})^2 \\ &= (a-b) - (a - 2\sqrt{ab} + b) \\ &= 2\sqrt{ab} - 2b = 2\sqrt{b}(\sqrt{a} - \sqrt{b}) \\ a > b > 0 \text{ より, } 2\sqrt{b}(\sqrt{a} - \sqrt{b}) &> 0 \text{ であるから } (\sqrt{a-b})^2 > (\sqrt{a} - \sqrt{b})^2 \\ \sqrt{a-b} > 0, \sqrt{a} - \sqrt{b} &> 0 \text{ であるから } \sqrt{a-b} > \sqrt{a} - \sqrt{b} \end{aligned}$$

8. 次の不等式を証明せよ。 $|a+b| \leq |a| + |b|$

解答 略

解説

$$\begin{aligned} (|a| + |b|)^2 - |a+b|^2 &= (|a|^2 + 2|a||b| + |b|^2) - (a^2 + 2ab + b^2) \\ &= a^2 + 2|ab| + b^2 - (a^2 + 2ab + b^2) \\ &= 2(|ab| - ab) \geq 0 \quad (\because |ab| \geq ab \text{ より}) \end{aligned}$$

よって $|a+b|^2 \leq (|a| + |b|)^2$
 $|a+b| \geq 0, |a| + |b| \geq 0$ であるから $|a+b| \leq |a| + |b|$
等号は $|ab| = ab$ つまり, $ab \geq 0$ のときに成立立つ。

10. $2x+y-3z=3, 3x+2y-z=2$ を満たすすべての実数 x, y, z に対して、 $px^2+qy^2+rz^2=12$ が成立するような定数 p, q, r の値を求めよ。

解答 $p=7, q=-4, r=21$

解説

$$2x+y-3z=3 \quad \dots \quad ①, \quad 3x+2y-z=2 \quad \dots \quad ② \quad \text{とする。}$$

$$① \times 2 - ② \text{ から } x-5z=4 \quad \text{ゆえに } x=5z+4$$

$$② \times 2 - ① \times 3 \text{ から } y+7z=-5 \quad \text{ゆえに } y=-7z-5$$

これらを $px^2+qy^2+rz^2=12$ に代入すると

$$p(5z+4)^2 + q(-7z-5)^2 + r z^2 = 12$$

$$\text{よって } p(25z^2+40z+16) + q(49z^2+70z+25) + r z^2 = 12$$

左辺を z について整理すると

$$(25p+49q+r)z^2 + 10(4p+7q)z + (16p+25q) = 12$$

この等式が z についての恒等式となるのは、 両辺の同じ次数の項の係数が等しいときであるから

$$25p+49q+r=0 \quad \dots \quad ③, \quad 4p+7q=0 \quad \dots \quad ④, \quad 16p+25q=12 \quad \dots \quad ⑤$$

$$④ \times 4 - ⑤ \text{ から } 3q=-12 \quad \text{ゆえに } q=-4$$

$$\text{よって, } ④ \text{ から } p=7$$

$$\text{更に, } ③ \text{ から } 175-196+r=0 \quad \text{ゆえに } r=21$$

9. $x > 0$ のとき、 不等式 $\left(x + \frac{1}{x}\right)\left(x + \frac{4}{x}\right) \geq 9$ が成立立つことを証明せよ。 また、 等号が成立立つのは、 どのようなときか。

解答 証明略 等号は $x=\sqrt{2}$ のとき成立立つ

解説

$$\text{左辺を展開して } \left(x + \frac{1}{x}\right)\left(x + \frac{4}{x}\right) = x^2 + x \cdot \frac{4}{x} + \frac{1}{x} \cdot x + \frac{1}{x} \cdot \frac{4}{x} = x^2 + \frac{4}{x^2} + 5$$

$$x^2 > 0, \frac{4}{x^2} > 0 \text{ であるから, (相加平均) } \geq \text{ (相乗平均) } \text{ により}$$

$$x^2 + \frac{4}{x^2} \geq 2\sqrt{x^2 \cdot \frac{4}{x^2}} = 2 \cdot \sqrt{4} = 4$$

$$\text{よって } \left(x + \frac{1}{x}\right)\left(x + \frac{4}{x}\right) = x^2 + \frac{4}{x^2} + 5 \geq 4 + 5 = 9$$

$$\text{等号が成立立つのは } x^2 = \frac{4}{x^2} \text{ すなわち } (x^2)^2 = 4 \text{ のとき}$$

$$x^2 > 0 \text{ から } x^2 = 2 \quad \text{更に, } x > 0 \text{ から } x = \sqrt{2}$$

ゆえに、 等号が成立立つのは $x = \sqrt{2}$ のときである。

注意

$$x > 0 \text{ であるので, } x + \frac{1}{x} \geq 2\sqrt{x \cdot \frac{1}{x}} = 2, x + \frac{4}{x} \geq 2\sqrt{x \cdot \frac{4}{x}} = 4$$

$$\text{よって } \left(x + \frac{1}{x}\right)\left(x + \frac{4}{x}\right) \geq 2 \cdot 4 = 8 \dots \text{ (※)}$$

という証明は絶対にやつてはいけない。それは、 (※)式において等号が成立立つような x は存在しないからである。なぜならば、 $x + \frac{1}{x} = 2$ となる x は $x=1$ のときで、 $x + \frac{4}{x} = 4$ となる x は $x=2$ のときであるからである。